

平成24年8月8日

平成24年度 議会運営委員会行政視察報告書

1. 期 日 平成24年7月30日（月） 14時30分～16時30分

2. 視 察 地 三重県鳥羽市

（概要） 人口：21,393人 面積：108.03㎡

3. 視察内容 「委員会中継について」

「市民との意見交換会について」

（取り組み経緯、効果、課題等）

「委員会中継について」

平成21年9月より、本会議のみケーブルテレビによる録画放送がされていたが、（加入率は約60%）ケーブルテレビの未加入者や若者にも議会や委員会の審議を見てもらいたいという議員からの要望がありインターネットの導入について検討を行った。

他市議会のインターネット放送システムは初期の導入費用や維持経費が大きく、財政上導入が難しかったため、国の各省庁や一部の議会でも実証実験的に組んでいる無料のインターネットストーリミング、ユーストリームを平成22年9月から平成23年3月までの期間、実証実験として活用することにした。

これは初期費用が約5万円程度しかかからなく維持するための経費もかからないという事で容易に取り組む事が出来た。

結果、約半年の期間中、生放送は延べ10442人で2435時間の視聴があり、録画放送においても2447人が視聴をした。

インターネット放送はパソコンだけではなくスマートフォンからも同じ映像を見る事が

可能であり、いつでも、どこにいても見る事が出来る。また、ツイッターを使って情報発信を行っていたが、ユーストリームと連携する事により議会のホームページへのアクセス件数が大幅に伸びた。

このように、低予算での取組みで市民への情報発信が出来た事、費用対効果が最大の効果であった。

課題としては、

- 市庁舎のネットワークが十分ではなかったためにサーバーが断続的に切断された。
- 庁舎内では生放送は視聴出来たが、セキュリティの関係で録画放送が見れない。
- 無料のサイトなので全く関係性の無い企業の広告が入る。
(鳥羽市議会ホームページに免責を表記している。)
- 初期費用を抑えたために、定点での撮影であり、拡大やテロップは入らない。

また、画像としてはっきりと映せなかった。

などがあった、実証実験の効果が大きかったので、結果的には課題にあがっている映像の問題については850万円の初期費用をかけて整備をしている。

「市民との意見交換会について」

平成23年4月に議会基本条例が制定されているが、その2年前から開催をされている。

基本条例をつくり、意見交換会を開催するなど小郡市の取組みと非常に類似していた。

鳥羽市からの説明の中でどの方法が最善の意見交換会かはわからない。

意見交換会については手探りの状態で模索をしているという事であった。

一年に1回の開催と決めており、3班体制で11月に実施をしていた。

地域住民との意見交換会は47の町内会があり、町内会長と日程や会場の調整を行い、

市民への周知もお願いをしていた。そのため、30カ所以上の会場で開催をしていた。

また、H23年からは各種団体（観光協会、商工会議所等）とも意見交換会をしていた。

市民への周知は各町内会長への文書配布、ケーブルテレビの行政チャンネル、議会だよ

り、ホームページを使って告知を行っていた。

実施後の整理は、各班で報告書を作成して議員全員で検証を行い、執行部に関連した案件に対しては回答を依頼、執行部と議会との意見交換会をしていた。

また、議会に関係する案件に対しては正・副班長と正・副議長で回答案を作成して議会全員で確認、その後各町内会長へ該当分の回答を文書で配布、議会だより、ホームページにも掲載をしていた。

課題としては、回数を重ねるとマンネリ化してしまい参加する市民が減少して行く傾向がある。行政用語などはなるべく使わないで、わかりやすい説明資料づくり、そしてわかりやすい説明をして行く事が大切であるという事であった。

平成24年度 議会運営委員会行政視察報告書

◇ 期 日 平成24年7月31日 (火) 13時30分～15時30分

◇ 視 察 地 愛知県犬山市

(概要)人口: 75,198人 面積: 74.97km²

◇ 視察内容 1「委員会中継について」、2「市民との意見交換会について」

1 「委員会中継について」

①情報公開の促進

- ・ 政務調査費・議長交際費を議会だよりで公表 (H.21年度～)
- ・ 委員会会議録をホームページで公開 (H.22年9月～)
- ・ ユーストリームによる議会中継 (H.22年11月～) 本会議ほか全会議
- ・ 議案をホームページで公開 (H.23年9月～)

②ユーストリームによる議会中継のメリットとデメリット

〈メリット〉

- ・ CATV、インターネット委託より格段に初期経費・維持管理費が安い。
- ・ ライブ配信のためいち早く会議の内容を市民に周知できる。
- ・ 会議終了後、すぐに録画映像を見ることが出来る。

〈デメリット〉

- ・ 高齢者などインターネットより CATV が便利。加入率 62%。
- ・ 編集できないので配信したくない内容も配信されてしまう。
- ・ 編集していないので見出しがなく視聴したい部分に行きつするのに手間がかかる。

2 「市民との意見交換会について」

①議会基本条例第4条「議会は、市民、市民団体、NPO等との意見交換の場を多様に設けて、議会及び議員の政策能力を強化するとともに、政策立案等の機会の拡大を図ります。」に基づき実施。

ア. 全議員による意見交換会・・・年1回程度

イ. 常任委員会ごとの意見交換会・・・年1回程度

②平成23年度 議員全員での意見交換会（犬山市南部公民館）

・実行委員会で計画実施

・平成23年10月18日（火）13：00～講演会、14：45～分科会ごとの意見交換会
15：45～16：30 試食会

・参加者数：後援会（約350名）、分科会（3分科会合計約100名）

・終了後の報告・・・会議録をHPに掲載。分科会での意見要望に対する回答書を作成し議会だよりに掲載。

3 その他の議会改革の取り組み

①議員報酬の見直し

- ・離職時の日割り計算の導入
- ・各種審議会等委員報酬の廃止

②議員間討議の促進

- ・全員協議会の定期開催（平成23年度20回）
- ・委員会での討議の場設置（H23.9月～）
- ・定例会機中に議員間討議を行うための全員協議会を開催（H23.12月～）

③議会人事・組織の改革

- ・正副議長の選出に立候補制導入。所信表明演説の実施 ほか

④その他

- ・議員への通知を原則メールで（H23.1月～）

- ・視察受け入れ時に書簡の委員長が同席
- ・議長車の廃止

◇まとめ（視察を終えて）

○ユーストリームを利用した委員会のインターネット中継は、鳥羽市より簡単な装置を使ってなされており、小郡市議会においてもすぐに実証実験やってみるべき。事務局より議員主導でなされていて議会改革の一環として徹底した情報公開をし、政策提言につなげていこうという理念が感じられた。

○意見交換会については、講演会や試食会と組み合わせたところは面白い発想だと思う。また、終了後、出された意見・要望に対する回答を議会だよりに掲載し返しているところは小郡市議会でも今後取り組むべき課題である。

○意見交換会終了後の意見・要望の整理と市民への返しを確実にやることが重要。

○ホームページの改善については、全体的ヴィジョンを持ちながら気づいたところから小さな改善を積み重ねていくことが大事。

○38歳の山田議長はじめ議運の正副委員長、民生文教委員長および事務局長ほか1名が対応された。説明および質疑への答弁はほとんど議長で、議会運営に自信持っていることがうかがわれた。

○今回の視察で、小郡市議会の議会改革のレベルはかなり高くなっていることを再確認することができた。

○議会中継や意見交換会による議会改革、つまり市民参加と情報公開は議会の活性化にとって避けて通れぬ課題であることは明らか。しかし、間違ったらぬのは、こうした議会改革はあくまで市民生活の向上と市の発展のための手段であるということである。議会改革ただで自己満足してはならないことを肝に銘じておく必要がある。